



令和8年10月16日

新潟県環境局環境対策課

新潟市環境部環境対策課

環境省水・大気環境局環境管理課

アジア大気汚染研究センター

フォーラム「気候変化と大気汚染の問題：私たちにできること」を開催します（お知らせ）

<新潟県・新潟市・環境省同時発表>

新潟県、新潟市、環境省及び一般財団法人日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センターは、東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）第28回政府間会合（IG28）の特別企画行事として、フォーラム「気候変化と大気汚染の問題：私たちにできること」を開催します。

このフォーラムでは、新潟をはじめとする地域の取組を紹介しながら、気候の変化と大気汚染の問題を解決するために、私たち一人ひとりにできることを考えます。皆さまも一緒に、考えてみませんか。ぜひ奮ってご参加ください。

なお、フォーラムへの参加には事前申込みが必要です（ライブ配信を含む）。

1 日時

令和8年11月26日（木） 午前9時～午前11時30分

2 会場

ホテルオークラ新潟4階「コンチネンタル」（新潟県新潟市中央区川端町6丁目53）

※現地会場とライブ配信のハイブリッド形式で開催します。

3 主催等

共催：新潟県、新潟市、環境省、一般財団法人日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター（ACAP）

後援：新潟県大気環境情報交換プラットフォーム、新潟県地球温暖化防止活動推進センター、その他関係機関（予定）

4 プログラム（概要）

●基調報告

国連環境計画（UNEP）：「気候変動と大気汚染の対策に向けた協力の輪を広げる：世界の動向と UNEP の取組」

●パート1：地域で進む4つの取組

以下の4つの取組について、紹介します。

- ・環境省 デコ活応援隊（脱炭素ライフスタイル推進室）：暮らしの中でできること（「デコ活」の取組）について
- ・三菱ガス化学株式会社：「新潟から拓く、CO₂削減と活用による循環型社会に向けた取組—地域と分かち合える価値の創造—」について
- ・新潟県 環境局：地域から進める、気候変動への適応について
- ・公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）：「気候変動と健康をともに考える：日本の

都市の取組と Wellcome プロジェクトからの学び」について

●パート2：私たちにできることを一緒に考えよう

対話と意見交換を通じて、私たちにできることを一緒に考えましょう。

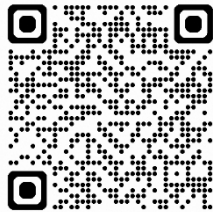
(1) 様々な関係者による対話「それぞれの立場から考える、私たちにできること」

市民、企業、行政など様々な立場の関係者が、それぞれの活動や取組を紹介し、考え方や課題等について意見交換を行います。多様な主体が対話を通じて相互理解を深め、協働により課題の解決につなげることを目指します。

- ・環境省 水・大気環境局 環境管理課
- ・新潟市 環境部 環境政策課
- ・新潟県地球温暖化防止活動推進センター
- ・株式会社ウェザーニューズ
- ・星 麻衣（新潟県環境賞第30回記念特別賞受賞者）

(2) 会場の皆さまとの意見交換

詳細なプログラムについては、以下のリンク・二次元コードからご確認いただけます。



<https://www.acap.asia/5868/>

5 定員

会場：100名、オンライン（ライブ配信）：450名（いずれも先着順）

6 参加申込

フォーラムへの参加を希望する方は、以下のリンク・二次元コードから令和8年11月25日（水）15：00までにお申込みください。



<https://forms.cloud.microsoft/r/mrNq9fatpB>

7 言語

日本語（日本語・英語から43言語へのAI同時通訳ツールを使用）

※ライブ配信は日本語のみ

本件についてのお問い合わせ先

代表連絡先

一般財団法人日本環境衛生センター

アジア大気汚染研究センター

企画研修部

電話： 025（263）0556（直通）

Email： acap_event@acap.asia

環境局環境対策課環境保全係 町田

（直通）025-280-5154 （内線）2712